

平成 28 年度事業計画について

阪神・淡路大震災以降の20年間で復興の歩みを着実に進めてきた神戸市は、神戸をさらなる高みへと押し上げるために、新たな芸術文化の創造とその情報発信を強化するとともに、市民が主体となった文化活動への支援に取り組むことで、文化による市民活動・交流を進め、芸術文化の薫りあふれるまちづくりを進めるとしている。

このような中、当財団は、市民が生きがいを持って暮らせるまちの実現に向け、市民と共に喜び合える文化事業・市民参加型事業の実施や、都市の魅力や活力を支える資源として文化芸術の振興に取り組んでいる。

平成28年度は、公益財団法人神戸市演奏協会との合併による「合併記念事業」を実施するほか、1)文化振興事業における「第9回神戸国際フルートコンクール」の準備や高校生によるジャズオーケストラの創設、2)演奏事業における演奏活動と広報・集客の充実強化、3)文化ホール事業における劇場法の精神をふまえた文化ホールプロデュース公演等の充実、4)区民センター事業における市民の身近な文化活動の場である区民センターの利用促進と自主事業強化等により、神戸市の文化創生都市づくりの推進に貢献する。

また、平成28年度は中期経営計画2016の最終年にあたることから、神戸市演奏協会との合併や神戸文化ホールの指定管理者申請など財団を取り巻く環境の変化を踏まえ、新たな中期経営計画の策定に取り組む。

【主な事業内容】

(1)文化振興事業については、恒例となっている「日本アマチュア シャンソン コンクール」、「神戸ジャズストリート」、「神戸アートウォーク」、「こうべ市民美術展」などを引き続き実施するほか、「神戸国際フルートコンクール」の開催に向けた取り組みや「医療産業都市の病院群に対するアートプログラム（医療＋アート）」を実施する。
また、ジャズの力により神戸の街を活性化させるとともに、「ジャズの街神戸」の全国への発信力を高めるため、「ジャズの街神戸」推進協議会による取り組みを実施する。

(2)演奏事業については、神戸市室内合奏団の定期演奏会では、国内外の指揮者、ソリストを迎え魅力的な内容を演奏する。神戸市混声合唱団は、秋の定期演奏会の指揮に青島広志、春の定期演奏会の指揮に矢澤定明を迎え、市民が楽しめる演奏会を開催する。
また、引き続き、区民センターでの地域密着型の演奏会なども開催し、「音楽のまち・神戸」の推進に貢献していく。

(3)神戸文化ホール事業については、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の趣旨を踏まえ、市民が集い、舞台芸術を創造するなかで絆を形成し、感動と希望をもたらす地域の文化拠点としての機能強化を図るため、市民参加型事業や地域連携型事業、これまで財団が構築した人的ネットワークを活かした文化事業に重点的に取り組む。全国から参加者がある「オカリナフェスティバル」や、地域団体と連携した「神戸文化ホール秋祭り」をはじめ、区民センターとの連携事業を継続するとともに、国内外で活躍する舞踊家と、地元舞踊家との協働制作による舞台公演やワークショップを通してダンス活動の裾野を広げる取り組みを行う。
また、神戸国際フルートコンクール入賞者によるリサイタルやレクチュアといった音楽事業の充実に加え、地元アーティストに発表の場を提供するだけでなく、地域の人々が広く文化・芸術に親しめる事業の強化を図る。

また、指定管理3期目の最終年にあたり、4期目の指定管理獲得に向けて、ホー

ル運営体制の強化に努める。

- (4) 区民センター事業については、第3期指定管理期間3年目を迎え、各センターの利用促進に引き続き取り組む。市民の文化活動要求に応える自主事業（講座・イベント）の充実強化を進めるとともに、「地域文化活性化事業」の中で地元住民・団体との協働による地域の文化コミュニティの発展を目指す。また、「市民の第九」や「文化ホール市民音楽祭」等の神戸文化ホールと連携した事業に継続して取り組むなど文化振興のための各区の中核施設にふさわしい管理運営を行う。

新たな場所に移る葺合文化センターの指定管理者（2年間）として、利用者層の拡大や掘り起こしを図り、地域住民のニーズへの的確な対応に努める。

<公益目的事業>

1 文化振興事業

(1) 事業方針

- ① 地元文化芸術団体の活動支援および若手人材育成支援の強化
- ② 文化芸術による神戸ブランドの創造発信
- ③ 高齢者・障がい者向け文化芸術事業の充実
- ④ これまでに作り上げてきた関係団体やアーティストとのネットワークを活かした事業の創出
- ⑤ 情報収集・提供の充実（多様な文化芸術の紹介）
- ⑥ 美術、演劇、映像等新たな事業分野拡大の検討
- ⑦ 文化芸術を担う人材の育成

(2) 中期経営計画 2016 の目標と進捗状況・計画

<数値目標>

項目	26 年度	27 年度	28 年度
創造発信型の新規事業実施回数	1 回	1 回	1 回
文化振興事業入場者数	44,000 人	44,500 人	45,000 人
参加型事業応募者数	3,120 人	2,660 人	3,120 人

<進捗状況・計画>

項目	26 年度実績	27 年度見込	28 年度目標
創造発信型の新規事業実施回数	1 回	3 回	2 回
文化振興事業入場者数	38,595 人	46,000 人	45,000 人
参加型事業応募者数	3,181 人	2,500 人	3,120 人

(3) 事業展開

「ジャズの街神戸」推進協議会の取り組みとして、高校生によるジャズオーケストラ「KOBE YOUTH JAZZ-PHONIC ORCHESTRA（仮称）」を創設するほか、ラジオ番組「KOBE JAZZ-PHONIC RADIO」の通年での放送や、「KOBE JAZZ DAY 2016」の開催等の取り組みを実施する。

「第9回神戸国際フルートコンクール」の開催（平成29年5月25日～6月4日）に向けて、出場者の募集を行うとともに、音源による予備審査を実施する。

また、アジアフルート連盟との共催により、中国・韓国・台湾・日本などのフルーティストが参加するアジアフルートコンGRESSを開催する。

神戸医療産業都市の病院群で治療を受ける患者や家族を対象に、プロのアーティストによる音楽等のアートプログラムに触れる機会を創出するシステムを構築し、患者や家族のクオリティ・オブ・ライフ（QOL）の向上を図る。

神戸を国内外に発信し、まちに賑わいをもたらすため、「日本アマチュア シャンソン コンクール」、「神戸ジャズストリート」などを引き続き開催する。

日頃の文化芸術活動を発表する機会や場を創出するため、また、超高齢社会における高齢者の生きがいづくりのため、例年開催の「60歳からのデビュー・あなたにシャンソンを」や「こうべ市民美術展」などの参加型事業を展開する。

神戸文化の基盤となっている既存の文化芸術団体の活動をサポートするとともに、今後の神戸文化の担い手となるような若手芸術家の育成支援として、「神劇ま

わり舞台」や「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」などの共催、「神戸フィルハーモニック」の支援、「舞コンサート」の開催などに取り組む。

演劇経験の無い人たちも対象とした「演劇ワークショップ・発表公演」については引き続き北神区民センターにおいて実施することに加え、当事業の魅力をより幅広く市民に知っていただくため神戸文化ホールでも発表公演を実施する。

(4) 文化振興事業一覧		※市民参加型事業		
		(単位：人)		
事業名	開催時期	開催場所	入場者数	
音	※ アジアフルートコンGRES	8/24～8/28	神戸文化ホール	2,000
	※ 「ジャズの街神戸」発信事業	4月～3月	市内各所	3,000
	神戸ジャズ物語	7/29	ありまホール	400
	神戸ジャズ道場	8/4～8/6	神戸セミナーハウス	—
	※ JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/19～21	神戸文化ホール	4,000
	神戸ジャズストリート	10/8,9	北野町周辺	2,500
	※ 日本アマチュア シャンソンコンクール	九州5/7 北海道5/23	福岡市健康づくり センター他	1,500
		中部5/26 神戸5/28		
		東北6/3 東京6/4		
		全国大会6/25	神戸文化ホール	600
	※ 60歳からのデビュー 「あなたにシャンソンを」	7/19,20	あじさいホール	600
	神戸フィルハーモニックの支援	4月～3月	神戸文化ホール	3,000
	舞コンサート	4月～3月	あじさいホール	600
神戸市吹奏楽祭	4/29,11/3	神戸文化ホール	4,800	
母親コーラスの育成	6/8,12/7,12/8	神戸文化ホール他	2,000	
室内楽名曲シリーズ	7月～12月	うはらホール	1,100	
神戸国際芸術祭	10月～11月	あじさいホール他	1,300	
美 術	市民ギャラリーの運営	6月～12月	市民ギャラリー	—
	こうべ市展市長賞作品展	10月	市民ギャラリー	1,200
	※ こうべ市民美術展	3/12～3/18	兵庫県民会館	3,500
演 劇 ・ 舞 踊	神劇まわり舞台	4月～3月	市内各所	2,500
	※ こうべ全国洋舞コンクール	5/1～5/5	神戸文化ホール	5,500
	※ 演劇ワークショップ・発表会	10/17～10/23	ありまホール 神戸文化ホール	700
	さわってみよう能の世界	12月	湊川神社神能殿	200
そ の 他	医療 + アート	4月～3月	医療産業都市内	1,500
	アートベンチャー事業	4月～3月 (前年度に募集)	区民センター他	2,500
	神戸アートウォーク	9月～12月	市内各所	—
	※ こうべ市民文芸	1月	生田文化会館	—
文化振興事業合計			45,000	

2 演奏事業

(1) 事業方針

- ①神戸市民の文化的な財産として、文化ホールを拠点として区民ホールなど市民の身近な場所で質の高い演奏の提供。
- ②演奏を、いっそう洗練されたものとし、音楽芸術の発展に寄与する。
- ③広報強化による神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団の周知を図るとともに、魅力的な公演を行うことで主催公演だけではなく依頼公演の増加を図る。

(2) 2016年の目標

項目	26年度実績	27年度見込	28年度計画
公演数（依頼公演含む）	89 公演	102 公演	117 公演
自主公演入場者数	13,521 人	14,500 人	16,750 人

(3) 事業展開

神戸市室内合奏団では、国内外で活躍する指揮者・ソリストをゲストとして招聘し、演奏会の充実を図る。定期演奏会では「時流を読む者-正統から独創を築き上げた人々-」をシーズンテーマに、ウィーンフィルハーモニー コンサートマスターのライナー・ホーネックをはじめとした魅力的なゲストと共に公演する。

6月定期演奏会	佐久間由美子（フルート）、栗形亜希子（チェンバロ）
10月定期演奏会	リューディガー・ボーン（指揮） アレクサンダー・シトコヴェツキー（ヴァイオリン）
11月定期演奏会	ライナー・ホーネック（ヴァイオリン）
3月定期演奏会	石川星太郎（指揮） ソフィー=真由子・フェッター（ピアノ）

また、区民センター等で行う公演でも、幸田浩子（ソプラノ）、混声合唱団団員との共演、来場者のアンケートによる楽曲の選定、特に人気の高い公演の再演など、地域に根差した公演を行う。

神戸市混声合唱団では、2回の定期演奏会で、「題名のない音楽会」などでおなじみの青島広志、オペラ de 神戸「蝶々夫人」で指揮をされた矢澤定明のお二人を指揮者に迎え公演を行う。また従来からの区民センター等で行う公演に加え、新たなファン層獲得のためミニオペラなど趣向を凝らした公演を六甲アイランドのオルビスホールで開催するなど、新たな取組みにも鋭意着手する。

依頼公演についても、札幌ふきのとうホール公演、松方ホール 20 周年記念コンサート、ザクセン声楽アンサンブルとのジョイントコンサートなどを実施するとともに、新たな依頼公演の拡大を図るべく両団の魅力発信を強化する。

(4) 事業一覧					
【自主公演】				(単位：人)	
事	業	名	開 催 時 期	開 催 場 所	入場者数
神戸市室内合奏団	定期演奏会		6/9	神戸文化ホール	600
			10/1	神戸新聞松方ホール	550
			11/29	神戸文化ホール	650
			3/9	神戸新聞松方ホール	650
	東京公演 (第26回)		3/11	紀尾井ホール	700
	セレナーデ星空コンサート (第20回)		8/6	あじさいホール	250
	あなたに贈るコンサート (うはらの郷コンサート)		5/21	すずらんホール	500
			8/27	なでしこホール	500
			10/22	うはらホール	600
			11/5	ありまホール	400
海のコンサート		2/6	灘区民ホール	400	
海のコンサート		4/15, 7/15, 9/16, 12/16, 1/20, 3/24	あじさいホール	1,350	
わがまちコンサート ピフレ		4/22, 10/14, 1/9	新長田ピフレホール	900	
神戸市混声合唱団	定期演奏会		9/3	神戸文化ホール	750
			3/12	神戸文化ホール	800
	あなたに贈るコンサート (うはらの郷コンサート)		9/25	ありまホール	400
			10/9	なでしこホール	500
			12/17	灘区民ホール	450
			1/22	うはらホール	550
	海のコンサート		5/6, 6/17, 8/26 10/21, 11/11	あじさいホール	1,300
	オルビスホール演奏会 (仮称)		6/2	オルビスホール	200
わがまちコンサート ピフレ		6/10, 8/5, 12/9	新長田ピフレホール	900	
合同公演	合併記念演奏会		7/31	神戸文化ホール	1,500
	室内混声合同演奏会 (仮称)		11/1		700
	レクイエムの夕べ～祈りをこめて～		1/17		650
演奏部事業合計					16,750
【依頼公演】					
室内合奏団	ふきのとうコンサート		6/11、8/11、13、 11/30	札幌ふきのとうホール	
	松方ホール20周年記念コンサート		9/25	神戸新聞松方ホール	
	神戸親和女子大学50周年記念演奏会		10/8	ポートピアホール	
	神戸っ子音楽応援団		4/1～3/31	市内10校程度	
	その他の演奏会		4/1～3/31	10公演程度	

混声合唱団	マンスリーミニコンサート	毎月第2日曜日	しあわせの村ロビー
	シルバー合唱コンクール	9/30	神戸文化ホール
	ザクセン声楽アンサンブルのジョイントコンサート	10/27	うはらホール
	その他の演奏会	4/1～3/31	30公演程度
合同公演	神戸市PTA協議会「楽しい音楽会」	4/2	神戸文化ホール
	神戸婦人大学ウェルカムコンサート	4/8	
	ちちんぷいぷい神戸音楽祭	5/22	

3 神戸文化ホール公演事業

(1) 事業方針

- ①文化ホールを拠点とした芸術創造発信事業の積極的展開
- ②優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供及び鑑賞教室や解説セミナー等の実施
※「創る(創造・発信)」、「育つ(教育普及)」、「観る(鑑賞)」が循環する事業展開
- ③財団のネットワークを活用した市民、芸術家、文化団体等との交流・連携事業の実施

(2) 中期経営計画 2016 の目標と進捗状況・計画

<数値目標>

項目	26年度	27年度	28年度
自主事業入場者数	80,000人	81,000人	82,000人
自主事業演目数	60事業	61事業	62事業

<進捗状況・計画>

項目	26年度実績	27年度見込	28年度計画
自主事業入場者数	92,594人	81,000人	82,062人
自主事業数(演目数)	78事業	92事業	69事業

(3) 事業展開

1) 芸術創造・発信事業

神戸の文化発信の基盤である地元芸術団体や、文化の担い手である若手芸術家に発表の機会を提供するとともに、市民の参加や地域との連携を図り、文化拠点としての機能充実につながる事業を展開する。昨年着手した舞踊事業については、振付家、ダンサーとして国内外で高い評価を受けている伊藤キムと地元の舞踊家が交流しながら作品を制作する「神戸GERO活動プロジェクト」を実施するほか、市民参加型のワークショップや学校へのアウトリーチを実施して、芸術創造の裾野を広げる活動を行う。また神戸国際フルートコンクールの第4回入賞者で第8回の審査員を務めたヘンリック・ヴィーゼ（バイエルン放送交響楽団首席奏者）のリサイタル開催とワークショップを実施して、コンクールの浸透を図る。

その他、神戸市演奏協会との合併記念事業、区民センターとの連携事業など、市民が集う発信型事業の強化に取り組む。

2) 教育普及・育成事業

能、狂言、歌舞伎の鑑賞教室や解説セミナーを実施して、世界に誇る伝統芸能を学ぶ機会を提供する。国内外で活躍する一流の演奏家から直接レクチュアを受けられるワークショップやマスタークラスを開催し、若手芸術家の育成に取り組む。また、市内の小学生を招待する劇団四季「こころの劇場」の継続実施により、文化・芸術の普及に貢献する。

3) 鑑賞・学習事業

国際的にレベルの高い公演や、民間興行では実現しにくい公演などを中心に、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。

具体的には、海外オペラ公演「ラ・ボエーム」のほか、42回目を迎える「東西落語名人選」や「松竹大歌舞伎（中村芝雀改め五代目中村雀右衛門襲名披露公演／松本幸四郎仮名手本忠臣蔵）」など開館当時から続く伝統的な公演を継続するとともに、映画事業「文化ホールキネマ」の拡充に努める。

(4) 事業一覧		※市民参加型事業			
(一部再掲)		(単位：人)			
事業名	開催時期	公演数	開催会場	入場者数	
芸術創造・発信事業	44事業 96公演		28,736		
神戸市民文化振興財団・神戸市演奏協会合併記念 ちちんぷいぷい神戸音楽祭	5/22	1	大ホール	2,000	
神戸市室内合奏団定期演奏会	6/9	1	中ホール	500	
※伊藤キム神戸GERO活動プロジェクト	6/15～18	4	リハーサル室	6	
※ステージ・オン・ステージ#2 伊藤キム神戸GERO活動プロジェクト公演	6/19	1	中ホール	150	
※オカリナフェスティバル in 神戸	7/23, 24	2	中ホール	1,000	
合併記念演奏会	7/31	1	大ホール	1,200	
※第4回神戸文化ホール音楽祭	8/14	1	中ホール	700	
神戸市混声合唱団定期演奏会	9/3	1	中ホール	500	
貞松・浜田バレエ団特別公演 創作リサイタル	9/10	1	中ホール	800	
※神戸文化ホール秋祭り	9/24, 25	2	全館・大倉山公園	5,000	
和太鼓松村組コンサート	11/5	1	大ホール	1,100	
ろうきんコンサート	未定	1	中ホール	300	
神戸市室内合奏団定期演奏会	11/29	1	中ホール	500	
貞松・浜田バレエ団特別公演 くるみ割り人形	12/23, 24	2	大ホール	3,400	
市民の第九	12/29	1	大ホール	1,500	
青春落語道場『大倉亭』新春寄席	1月	1	中ホール	600	
レクイエムの日	1/17	1	中ホール	500	
ステージ・オン・ステージ#3	1/20, 21	2	大ホール	700	
P R A Y F R O M K O B E	1/29	1	大ホール	1,300	
平成28年度公共ホール現代ダンス活性化事業	2/12	1	大ホール	300	
神戸市混声合唱団定期演奏会	3/12	1	中ホール	500	
ヘンリック・ヴィーゼフルートリサイタル	3/18	1	中ホール	500	
第九回神戸能	3/20	1	中ホール	400	
神戸文化ホールロビーコンサートシリーズ	年10事業	20	大ホールロビー	1,600	
青春落語道場大倉亭	年11事業	46	大ホールロビー	3,680	
教育普及・育成事業	8事業 22公演		16,426		
※神戸市PTA協議会文化事業 楽しい音楽会	4/2	1	大ホール	1,200	
※能・狂言体験講座	7/28～30	2	練習場 湊川神社神能殿	30	

※ 森 優 貴 ダンスワークショップ (仮)	8/2, 4, 5	3	リハーサル室 東灘区民センター	30
劇 団 四 季 こ こ ろ の 劇 場	10/18~21	8	大ホール	15,000
※ 第 九 回 神 戸 能 プレイベント	2月	1	大ホールロビー	30
※平成28年度公共ホール現代ダンス活性化事業 ワークショップ	2/7~12	5	リハーサル室	100
※ ヘンリック・ヴィーゼ ミニワークショップ	3/18	1	中ホール	30
※ ヘンリック・ヴィーゼ マスタークラス	3/18	1	中ホール	6
鑑 賞 ・ 学 習 事 業	17事業		39公演	36,900
桂 文 珍 独 演 会	4/24	2	中ホール	1,300
木 嶋 真 優 ヴァイオリンリサイタル	5/14	1	中ホール	400
ローマ・イタリア歌劇場 プッチーニ「ラ・ボエーム」	6/24	1	大ホール	1,500
松竹大歌舞伎 (五代目中村雀右衛門襲名披露公演)	9/8	2	大ホール	2,500
第 42 回 東 西 落 語 名 人 選	9/24	2	中ホール	1,400
しまじろうのクリスマスコンサート	12/2~4	11	大ホール	16,500
親子のためのオーケストラ ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団演奏会	12/18	1	大ホール	1,700
桂 米 朝 一 門 会	3/11	1	中ホール	800
神 戸 文 化 ホ ー ル キ ネ マ	年9事業	18	中ホール	10,800
神 戸 文 化 ホ ー ル 公 演 事 業 合 計	69事業		157公演	82,062

4 神戸文化ホール貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ①弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ②施設利用者、来館者のご意見を反映したホール運営
- ③文化の発信拠点として地元芸術団体・若手アーティストを支援
- ④基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

【共同事業体】

神戸市民文化振興財団グループ

(神戸市民文化振興財団、神戸国際会館、神戸国際ステージサービス、サントリーパーブリシティサービス)

(2) 中期経営計画 2016 の目標と進捗状況・計画

<数値目標>

項目		26 年度	27 年度	28 年度
利用率 (踏入率)	大ホール	80%	80%	80%
	中ホール	85%	85%	85%
利用率 (実利用率)	大ホール	68%	68%	68%
	中ホール	72%	72%	72%
利用者満足度		95%以上	95%以上	95%以上

<進捗状況・計画>

項目		26 年度実績	27 年度見込	28 年度計画
利用率 (踏入率)	大ホール	83.2%	88.5%	80%
	中ホール	84.7%	86.0%	85%
利用率 (実利用率)	大ホール	73.0%	80.3%	68%
	中ホール	74.4%	77.2%	72%
利用者満足度		98.4%	95%以上	95%以上

(※数値目標は収益事業含む)

(3) 事業展開

- ・年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続。
- ・専門性の高い舞台運営、ホスピタリティー溢れるホール運営で利用者をサポート。
- ・ご利用後のアンケート調査や「お客様の声BOX」でお寄せいただいたご意見・ご要望を基に、ホール運営全般の改善に努める。
- ・エントランスにロビーチェアを設置するなど来館者サービスの向上に努める。
- ・オペレーターを増員して、チケット電話予約への迅速な対応に努める。
- ・抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。
- ・若手芸術家の発表の場、交流の場としてのロビー活用を推進する。
- ・設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なうとともに、市と連携して施設改善を図る。

5 区民センター講座・地域連携事業

(1) 事業方針

- ①「地域住民と共に歩む区民センター」として市民の文化活動のニーズに対応
※「学ぶ」→「深める」→「発表する」→「鑑賞する」→「学ぶ」及び地域住民同士が「つながる」ニーズ
- ②講座事業や地域連携事業（地域住民参加型やプロの芸術に触れる鑑賞型等のイベント及び地域文化活性化事業）を実施
- ③事業運営等への「区民センターサポーター」等の住民参画
- ④財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用した事業展開

(2) 中期経営計画 2016 の目標と進捗状況・計画

【区民センター(葦合文化センターを除く)】

<数値目標>

【区民センター(ただし葦合文化センターを除く)】

項目	26年度	27年度	28年度
講座受講者数	22,000人	22,300人	22,600人
地域連携事業数	143事業	148事業	153事業
地域連携事業参加者数	37,000人	38,000人	39,000人

<進捗状況・計画>

項目	26年度実績	27年度見込	28年度計画
講座受講者数	22,096人	22,752人	22,800人
地域連携事業数	166事業	154事業	155事業
地域連携事業参加者数	47,577人	47,700人	48,000人

(※数値目標は収益事業含む)

<数値目標>

【葦合文化センター】

項目	26年度	27年度
講座受講者数	2,450人	2,500人
地域連携事業数	26事業	27事業
地域連携事業参加者数	10,000人	10,500人

<進捗状況・計画>

項目	26年度実績	27年度見込	28年度計画
講座受講者数	2,134人	2,167人	1,650人
地域連携事業数	31事業	30事業	15事業
地域連携事業参加者数	11,677人	11,800人	2,500人

(※数値目標は収益事業含む)

(3) 事業展開

1) 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツ等の講座を、①低廉な料金、②春季・秋季の「定例講座」と、季節や住民ニーズ等を反映する「随時講座」も交え、③年間を通じて、開講する。新たな試みとして、企画段階からの市民参加型の講座開設に取り組む。

新規講座を開設する一方、受講率の低い講座の見直しや講師報酬への歩合制の導入等により収支改善に常に努め、また、伝統芸能等の伝承等、公益財団法人として取り組む必要のある講座等にも配慮しつつ受講者数の拡大を図る。

2) 地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

住民の「発表する」ニーズ及び専門家による芸術文化を「鑑賞する」ニーズに応える地域住民参加型の自主事業（イベント等）、各地域の歴史や伝統文化、個性を生かしつつ、参加や鑑賞等、住民が芸術文化に触れたり、日頃磨いた技を発表したり、お互いに交流する機会となる「地域文化活性化事業」（事業費は管理費に含む）を企画実施する。

※地域文化活性化事業の例

「東灘：書の芸術祭」「葺合：伝統芸能祭」「生田：Shall We Music?」「北：すずらんホールファミリーコンサート」「北神：人形劇あらしのよるに」「須磨：文化から読み取る須磨の歴史」「西：なでしこダンスフェスティバル」

各センターの特色を生かし、地元住民・団体との協働による住民参加型行事や神戸文化ホールと連携した「市民の第九」や「文化ホール市民音楽祭」等の開催に取り組む。

3) 作品展示会・発表会

区民センターのギャラリーやロビー、ホール及び花時計ギャラリーにおいて、講座受講生をはじめとする市民の絵画、陶芸、写真等の作品展示会や舞踊、音楽等の発表会を実施する。

6 区民センター貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ① サービスと利便性の向上、利用促進のための料金割引制度、利用団体への広報・相談サポート提供、積極的な広報活動などによる利用促進
- ② 長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の安定的な提供

(2) 中期経営計画 2016 の目標と進捗状況・計画

<数値目標>

【区民センター（ただし葺合文化センターを除く）】

項目	26年度	27年度	28年度
利用率（踏入率）	73%	74%	74%
利用率（実利用率）	49%	50%	50%
大ホール利用率（踏入率）	71%	72%	72%
大ホール利用率（実利用率）	44%	45%	45%
利用者満足度	95%以上	95%以上	95%以上

<進捗状況・計画>

【区民センター（葺合文化センターを除く）】

項目	26年度実績	27年度見込	28年度計画
利用率（踏入率）	76.8%	78.3%	77%
利用率（実利用率）	51.8%	53.0%	53%
大ホール利用率（踏入率）	71.0%	70.2%	72%
大ホール利用率（実利用率）	45.4%	44.5%	46%
利用者満足度	97.9%	97.7%	95%以上

（※数値目標は収益事業含む）

<数値目標>

【葺合文化センター】

項目	26年度	27年度
利用率（踏入）	53%	54%
利用率（実利用率）	30%	31%
大ホール利用率（踏入率）	73%	73%
大ホール利用率（実利用率）	51%	52%
利用者満足度	95%以上	95%以上

<進捗状況・計画>

【葺合文化センター】

項目	26年度実績	27年度見込	28年度計画
利用率（踏入率）	53.0%	53.5%	60%
利用率（実利用率）	31.2%	31.2%	31%
大ホール利用率（踏入率）	81.0%	79.8%	81%
大ホール利用率（実利用率）	61.8%	63.9%	65%
利用者満足度	98.9%	97.7%	95%以上

（※数値目標は収益事業含む）

（3）事業展開

- ・サービスと利便性の向上
例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充等
- ・地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援
例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置等
- ・積極的な貸館セールス
例：「区民センターニュース」発行、「友の会」設立、ホームページの活用、ポスティングによるPR等
- ・省エネルギーや環境を意識した設備管理
例：節電、環境保護の取り組みの日常業務への組み入れ

7 情報提供事業

財団事業や関連する文化情報について市民に幅広い媒体を通じて提供する。

1) 文化情報誌 「KOBE C 情報」の発行(50,000部/月)

市内をはじめ、近隣諸都市を含めた文化に関する各種情報を市民に提供するため、月刊誌「KOBE C 情報」を発行し、市営地下鉄・私鉄等公共交通機関の各駅や、区民センター・区役所等市内外で幅広く配付する。

2) 文化ホールからの情報発信強化

文化ホールの情報発信機能を充実、強化するため、①情報誌「ほーるめいと」の発行(18,000部/月)、②メールマガジンの発行、③友の会運営に取り組む。

3) 神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団からの情報発信強化

神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団からの情報発信の充実強化を図り、①情報誌「音楽のまち」の発行(7,000部/月)、②友の会運営に取り組む。

※「ほーるめいと」「音楽のまち」は28年度早期に一本化し、文化ホールをフランチャイズとする演奏団体としての情報発信に取り組む

4) 区民センターからの情報発信強化

区民センターからの情報発信機能の充実強化を図り、ポスティング、ホームページへの情報提供に加え、全区民センターで「区民センターニュース」発行及び友の会運営に取り組む。

5) インターネットによる情報発信

財団が主催する主要事業等を紹介するとともに、神戸文化ホール及び区民センターの空室情報や区民センターの講座受講申込、「KOBE C 情報」のデータなどをホームページに掲載する。また、ツイッターやフェイスブックを活用したリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むと共に動画共有サイトによる事業広報を展開する。

6) 広報・PRの強化

テレビ番組での放映、ラジオ番組作成、各種資料提供などマスコミ(例:新聞、テレビ・ラジオ、ミニコミ、専門紙)による情報発信に積極的に取り組む。

8 合併記念事業

◇趣旨

神戸市民文化振興財団と神戸市演奏協会との平成28年4月の合併にあわせて、両財団の合併の周知及び神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団の知名度アップとそれによる集客力向上さらには神戸文化ホールの発信力強化を図る。

◇合併記念事業一覧（一部再掲）

時期	内容	備考
28年 3月	○オペラ de 神戸「蝶々夫人」 (神戸文化ホール)	(実施済) 神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団出演
4月	○ロビーコンサート (神戸市役所)	神戸市混声合唱団出演
5月	○ちちんぷいぷい神戸音楽祭 (神戸文化ホール)	毎日放送との共催によるポピュラーミュージシャンとの共演コンサート。 神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団出演
6月	○上記コンサートのテレビ番組（毎日放送）放映	神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団の関西圏へのPR強化を図る。
7月	○合併記念演奏会 (神戸文化ホール)	全団員参加による「第九」演奏会。 神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団出演。
8月	○第8回アジア・フルートコンGRESS神戸2016 (神戸文化ホール)	併催事業で第9回神戸国際フルートコンクール関連事業としてコンサート開催 神戸市室内合奏団出演
10月	○神戸秋の芸術祭 (神戸文化ホール、区民センター、松方ホール、あじさいホール)	「神戸秋の芸術祭」と銘打ち計8本の音楽事業を4会場で開催。 神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団出演。
12月	○市民の第九 (神戸文化ホール)	区民センターで練習を重ねた市民合唱団(約300人)による「第九」演奏会。 神戸市混声合唱団出演。

<収益事業>

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

指定管理者である神戸文化ホールにおいて、コンベンション等文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場等神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1~5	: 15 名~150 名
	多目的室・特別控室	
	自動販売機	: 8 台
	駐車場（神戸文化ホール練習場）	: 10 台

(2) 区民センター講座・地域連携事業

指定管理者である各区民センターにおいて、美容・スポーツ等の文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催する。

※例 講座：健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球等
自主事業：コミュニティフェスティバル、卓球大会等

(3) 区民センター貸館・管理事業

指定管理者である区民センターにおいて、イベント等文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等区民センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	
	会議室	
	多目的ホール	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 18 台
	駐車場（北神区民センター）	: 123 台

<その他（財団の管理運営事業）>

(1) 専門性の強化

財団の公益目的事業にかかる専門性の強化を図り、市民と共に喜び合える文化事業（例：医療産業都市内の病院群に対するアートプログラム）を実施できる専門人材を固有職員として登用していく。

(2) 中期経営計画の実行

2014 年度からスタートした「中期経営計画 2016」で定められた目標の実現に向けて事業を運営すると共に、P D C A サイクルを着実に運用していく。

(3) KEMS ステップ 2 の活動

環境負荷低減を図り、神戸環境マネジメントシステム（KEMS）ステップ 2 の認証に基づく取り組みを着実に計画実施する。

(4) 外部資金の獲得

文化活動の振興強化を図るため、公的な補助金制度の申請、寄附金税制優遇制度を活用した寄附、クラウドファンディング、個別事業への企業協賛など外部資金の獲得に向けて継続して取り組む。

(5) 資金調達及び設備投資

資金調達及び設備投資について実施の見込みはなし。